

桑田佳祐さんは「波乗りジョニー」で「君を守ってやるよ」と神に誓って熱唱した。こんどは「ピースとハイライト」であまたの「君」を守るために現代史の課題へと向かった。しかもいつものように明るく、軽やかに、そして真剣に――。

桑田さんたちサザンのメンバーは新曲のプロモーションビデオで「秘密戦隊ゴレンジャー」のようなお面をかぶった。淡々とした日常からのヘーンシン! 「桑田ゴレンジャー」は、オバマ大統領と習近平国家主席、安倍晋三首相と朴槿恵大統領の対立をいさめるため、果敢に行動する。その成果あって最後は米中首脳が握手をする。

この日本では人間としてもっとも恥ずべきヘイトスピーチ(差別扇動)が吹き荒れてきた。それに反対する人たちは、本来の素顔(こころ)に少しだけの、あるいは大きな勇気を奮い起こし、自然発生的に差別反対の行動に駆けつけた。

「現代社会が抱える問題をみんなで考えよう」――「ピースとハイライト」の精神を、桑田佳祐さんはこう表現した。時代に深く斬り込んだ新曲のスケールはかくて世界に大きく広く開かれている。

# 有田芳生

参議院議員